

北海道開発局と札幌市との道路除排雪に関する協定

1. 協定を結んだ目的

令和3年度、数年に1度の記録的な大雪が札幌市を襲いました。バスやJRなどが運休したり、道路の除雪が間に合わず、札幌市内のいたるところで交通渋滞を引き起こしたりと、私たちの生活に大きな影響を与えました。そこで、北海道開発局と札幌市が協力しあい、大雪による私たちの生活を守ることを目的に協定を結びました。

2. 協定の概要

(1) 道路除排雪に関する相互協力

以下の連携・協力により、効率的に除排雪作業を実施する。

- 除排雪作業の進み具合や、雪堆積場（道路などからダンプで運んできた雪を冬の間積み上げておく施設）等の状況を共有しあう
- 北海道開発局と札幌市がそれぞれ管理する幹線道路（高速道路・国道・道道）の交差している部分を協力し合って除排雪する
- 河川の敷地や公園などの公共施設の土地を活用し、雪を堆積できるように連絡を取り合ったり、調整したりする
- 雪堆積場を互いに利用できるように調整する



(2) 大雪時における道路除排雪に関する相互協力

- 大雪の時でも幹線道路を維持できるように除排雪をするための方針を調整する
- 河川敷地にある雪堆積場に積み上げる雪の量を増やす
- 新たに確保した雪堆積場をお互い利用できるように調整する
- 北海道開発局が管理する除排雪の機械やダンプトラックを札幌市に貸す



(3) 除排雪作業の効率化に関する相互協力

- 除排雪のための新技術や、新たな取組（除雪車の自動運転技術の開発）などの情報を共有し、進める